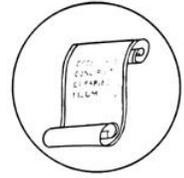


# ひかり

2016年11月号

日本聖公会 三光教会

第651号



降臨節

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。(ルカ 20:38)

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

## 「堅信前の陪餐」

### について

司祭 グレース 神崎和子

教会の桜の木からの落葉が地面一面に広がっています。晩秋を感じます。教会の礼拝堂にも暖房が入りました。

教会の暦も一年の最終月に入ってきました。主イエスのご降誕を待ち望む、降臨節がやってきます。

新しい年を視野に入れながら、東京教区は流動・革新の方向へ大転換しようとしています。革新と言えば先日日本聖公会主教会から牧会書簡が出され、それには「堅信前の陪餐」について書かれています。それによりますと、日本聖公会は2017年1月1日をもって「堅信前の陪餐」が実施されます。今まで、聖公会は長い伝統のなかで、「堅信を受けた者は陪餐することができるとされ、堅信が陪餐の前提条件とされてきましたが、そこから大きく変わって

いきます。

これまで、成人が洗礼を受ける時、その場に主教が共におられる場合、洗礼・堅信・陪餐が一つの礼拝の中で行われてきました。この基本が変わりはありません。しかし主教が臨席されておられない場合にも、成人の受洗者は、堅信を受けなくても陪餐へと進み、そして出来るだけ早い機会に主教から堅信を受けることとなります。

また幼児洗礼の場合、適切な年齢で初陪餐へと招かれます。その場合、その年齢にふさわしい陪餐の準備を行なう必要があります。又幼児洗礼のみを受けた成人の受洗者も陪餐の準備が必要となります。そして主教から堅信を受ける必要に変わりはありません。

この様な「陪餐」についての変化にもかかわらず、大切なことは、私たち教会の構成員の、できるだけ多くの層が、主の食卓である聖餐に招かれているということです。そしてキリストの体また神の家族である私たち教会が、強められ、豊かにされていくことが最も重要なことです。このことを再度確認しながら進んでいきます。

## 11月・12月の予定

### ◆11月

22日(火) 聖書に学ぶ会(旧約)

23日(水) 殉教者主教ローマのクレメント

27日(日) 降臨節第1主日

30日(水) 使徒聖アンデレ日

### ◆12月

2日(金) 日本聖公会初代主教ウイリアムズ

聖書に学ぶ会(旧約)

3日(土) アジアの殉教者とフランシスコ・ザビエル

4日(日) 降臨節第2主日

5日(月) 司祭教会博士アレキサンドリアのクレメンテ

6日(火) 主教ニコラス

12月逝去者記念聖餐式

聖書に学ぶ会(新約)

7日(水) 主教教会博士アンブロシウス

11日(日) 降臨節第3主日

13日(火) 殉教者おとめルシヤ

14日(水)・16日(金)・17日(土) 冬期聖職按手節

18日(日) 降臨節第4主日

21日(水) 使徒聖トマス日

24日(土) 降誕日前夕

25日(日) 降誕日

26日(月) 最初の殉教者ステパノ日

27日(火) 福音記者使徒聖ヨハネ日

28日(水) 聖なる幼子の日

29日(木) 主教トマス・ベケット

## フィリピン協働便り発行

9月11日にフィリピン協働便りを発行しました。これはフィリピンの聖ステパノ教会での1月の信徒総会、2月に出された、聖ステパノ教会の所属する伝道区の教区への報告書を基に、現在の聖ステパノ教会の教勢、昨年の諸活動、今年の活動計画をまとめたものです。

具体的には、昨年台風で半壊した顕現伝道所が再建されたこと、活発な聖書研究、信徒礼拝奉仕者・奉事者がみ言葉の礼拝や聖餐式で多くの役割を担っていること、また信徒への牛の貸出し、教会での農機具の調達、育苗、植樹など、教会が地域のセンター的役割を担っていることが報告されました。

三光教会の信徒の方からは、教会が一丸となって新しい地域に伝道所を開拓していく姿勢に、日本の教会の草創期のような熱気を感じた、地域の身近な教会としての働きに感銘を受けた、との言葉が寄せられました。

昨年3人の方が来日された記憶もまだ新しいかと思えます。これからも聖ステパノ教会と、学び、祈り合いながら関係を深めていきたいと思えます。

(記・安次嶺佳子)

## 婦人会だより (10月)

10月は第5週に三光教会の秋の大バザーがあり、婦人は10月に入ってから、その準備の為に教会に届けられた沢山の献品を皆で相談しながら値段付けをしました。沢山の献品を見ながらチエツクをして値段を付けていく時間は婦人会の場にいる会員にとって楽しかったり、難しかったりする時間にもなりました。来年もよろしくお願ひします。(記・藤田清子)

## 男子会だより (10月)

### 〈日帰り研修〉 目黒・白金・高輪の史跡・文化財巡り

教会男子会から表記案内を頂き、東京の秋を楽しみたくなった。幸いLate applicationにも関わらず参加を許された。11月3日、集合場所はJR目黒駅改札前、30名を超す方々が集まった。3班に分散配属された。神崎司祭の祈祷

を終えると、移動開始、小生は吉川組、彼の黄色のJacketを見失わないよう後に続いた。

### ・東京庭園美術館

隣の自然教育園には、学生達と訪れたことがあるが、重要文化財である旧朝香宮邸は初めてである。6年間この前を走る都電5番で麻布中高に通っていたが、余り記憶にない。吉田茂外相・首相公邸として使用されていた時期と符号する。お巡りさんが立っていた記憶がある。時々外車が入りしていた気もする。立派な庭園の木々が、秋の空に映え、美しい。鉄筋コンクリート造りの建物は、日本的デザインを散りばめた日本のオールデコ(1910-1930年)にかけてフランスを中心に流行した工芸・建築・絵画・ファッション)様式である。1933年竣工であるので、東洋の国、日本としてはかなり先見性のある建築物といえよう。1921年に白金御料地として下賜されていることは、明治天皇がなさった多くの下賜行為が、大正後半でも持続されていたことを示している。映画に出てくるような、立派な家具、部屋、壁、廊下など久しぶりに味わった豪華さに酔いしれた。

外に出てbandに座りながら東京の秋空を楽しんだ。

### ・明治学院

キリスト教主義の教育で多くの逸材を輩出している。内部に入ったのは初めてであった。開園直後に米国長老教会から派遣された医療宣教師ヘボン師によるヘボン塾を嚆矢とする。白金キャンパスのほか、横浜、東村山にもキャンパスを保持し、キリスト教主義に立脚した次世代育成に貢献した。白金キャンパスには数多くの著名建築物を設計したウイリアム・ボーリズによる礼拝堂、明治学院記念館、賀川豊彦展示物、島崎藤村歌碑、大銀杏、ヘボン胸像、インブリー館など、重要文化財として指定されている貴重な史物がある。丁度学生達の文化祭に遭遇し、我がグループの孫世代と一緒にになり、元気を貰えた。

### ・カトリック高輪教会

我々の到着と同時にお出迎えを受け、お茶、饅頭を頂きながら、ご説明、ご案内を受けた。それによると戦後間もない頃、バチカンからの緊急要請に依って、カナダのスカボロ外国宣教会は、日本での布教を始め、東京の中でも比較的

被害の少なかった、港区高輪の戦災で焼け残った一邸宅でミサが開始されている。次第に近隣の信者が集まり始め、ここから高輪教会が生まれた。信徒数の増加に伴って現在の地に移り、古い日本家屋を司祭館として、1959年、木造の聖堂が献堂された。日本の町並みに合ったこの教会は、人々に愛され親しまれていたが、建物の老朽化に伴い、1989年に現在の聖堂に建て替えられ1997年には、中に入っても楽しめるユニークな美しさを持つ十字架のモニュメントも完成している。(1979年に当教会は外国宣教会から東京教区に移管され、現在に到っている。)鉄骨、パイプ構造の明るい聖堂、クリプト(納骨堂)、歴史記念物などが有名である。

本教会は三代将軍徳川家光によるキリシタン弾圧によるモンド原主水らの火刑場所近く、毎年殉教者の記念ミサが11月下旬に守られている。クリプトは都会型教会の納骨堂の在り方を示すものとして参考になろう。

原主水は、家康に可愛がられた人物である。しかし時代が変わり家光の代には棄教を拒否したがた

めに、火刑に処せられた。金や権力で、人間の心を支配すること、変更を強いることの難しさを、為政者も歴史から学ばねばならないし、そのようなことをしないで過ごせる持続的社會を未来のために構築する必要を感じた。

・つばめグリルでの夕食会

疲れた足を引きずりながら無事グリルに到着。幹事の手配で我々だけでグリルの一角を占領することが出来た。神崎司祭の食前の祈りが終わると、直ちにお酒で喉を潤し、ご馳走で胃袋を満たす動物的行動が賑やかに開始された。今日の日帰り巡りを終えて、三光ファミリーの team building の素晴らしさを感じた。ブカレストの秋も素晴らしかったが、縦糸と横糸が繋がっている実感を得たのは小生だけではあるまい。東京の秋の素晴らしさを更に感じた一日であった。幹事団に感謝。

(記・藤田慶喜)

公示

日本聖公会東京教区三光教会の2017年度教会委員の選挙を日本聖公会法規に従って、実施致します。

救主降生2016年11月6日

聖霊降臨後第25主日

日本聖公会東京教区三光教会

牧師 司祭 グレース神崎和子

記

・投票方法

- ①所定の投票用紙を用いてください。
- ②教会委員として投票したい方10名(10名以内でも可)の氏名を投票用紙の枠内に記入してください。
- ③教会内に設置された投票箱に投票してください。牧師宛郵送も可能です。
- ④投票は無記名。

・選挙期間

2016年11月6日(日)  
 ~ 2016年12月4日(日)

・選挙管理委員

大川由美子、松崎尚美、吉川晃

受聖餐者各位

(以下略)

礼拝のご案内

- 主日礼拝
  - 午前 7:00 早祷・嘆願
  - 午前 7:30 聖餐式
  - 午前 9:00 ステパノ会 (日曜学校)礼拝
  - 午前 10:30 聖餐式
  - 午後 4:00 夕の礼拝
- 平日礼拝
 

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。  
 ●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。  
 ●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。